

テーマ

「ここにいてよかった、ここでよかった！」

目標

- ・ 地域と学校が交流できる「開かれた学校」を実行するために、情報共有し課題へ取り組む。
- ・ 地域が子どもを育て、地域が学校を支える体制を確立。
- ・ 社会の基本となる「家庭教育の支援」

今年度の取組紹介

「とみきた塾」の年間活動の発表会

とみきた塾は現在 10 クラブあり、12 月に年間の活動発表を行いました。

個人の自主性を重んじ「自分で考え活動」し、生徒のキラッと光る素晴らしい発表会でした。



「事業のPRと理解」

ロゴマークとストラップを作成しPRしました。また卒業式での説明、教職員への研修も行いました。教育協議会をとみきたスクールと呼ぶようにしました。マスコミの協力により、PRが出来ました。(12件掲載)

今年度のまとめ

- ① 「登美ヶ丘フェスタ」などの今までなかった新規事業が出てきました。
- ② 参加者からの要望を取り入れ、交流できる事例が自然発生的に出てきました。
- ③ 既存の組織(自治会等)に頼らず事業の目的である学校を支援する活動ができました。
- ④ 教職員の理解が深まる事例が出てきています。

(教職員研修会で地域の人が講師) (終業式等へ地域の人が参加)

来年度に向けて

「登美ヶ丘フェスタ」「ひつじプロジェクト」「東大寺・寺小屋」の新規事業、「サマーセミナー」「とみきた塾」などのリニューアルを行い、地域ニーズに合った活動を目指します。この事業を生徒・保護者・地域から、「おもしろい」と評価されるようにしたいと思います。

テーマ

地域に根づく人づくり

目標

- ・自らの考えを表現する力、他人の考え方を理解する力、伝え合う力の育成
- ・体験学習、地域と共に動き、働く等、あらゆる多様な学びの機会を充実

今年度の取組紹介

12月6日（金）『地域に育つ喜びと感謝』をテーマにして創立30周年記念事業を、地域・家庭・学校の和気あいあいとした連携により、①地域美化奉仕活動、②炊き出し交流会、③記念式典（オペラ記念リサイタル・大合唱）を実施しました。

① 9時からは、地域への感謝の気持ちを込めての地域環境美化奉仕作業として、校区内4方向に分かれて生徒と教員が協力し合い、歩道の植え込みやバス停等に散乱しているゴミや空き缶を拾う奉仕作業を行いました。



② 11時からは、地域農園クラブ、PTA役員および保護者の協力により、校内農園で育った里芋やネギ等がたっぷり入った芋煮汁600食分が防災用大鍋で炊き出させていただきました。昼食交流会には、どんぶり1杯の芋煮汁と地域のパン屋さんからの特製パン2個ずつがふるまわれました。



③ 12時15分からは、本校卒業生で世界的に活躍されているオペラ歌手の榎 貴志さん（第10回卒業生）を招聘し記念リサイタルを実施しました。恩師の先生方も駆けつけていただき、思い出のエピソードを語っていただきました。地域に育つ喜びと大きな夢と希望で胸を膨らませ、参加者全員の心が一つにまとまる大合唱が会場全体に響き渡りました。

**今年度のまとめ**

夏期休業中に実施した校区内小中合同研修会において地域総合コーディネーターに講師を務めていただいたり、サマーセミナー（本中学校区事業）において、校区内教職員が講師を務めたりするなど、学校と地域との距離感が密接となってきました。本校農園活動をさらに発展させることや、地域・家庭・学校の連携強化を図ることにより、地域に根づく人づくりを進めていきたいです。

来年度に向けて

新興住宅地としての発展に伴い、地域と人との絆づくりがますます必要となってきます。将来の日本をたくましくかつたかには担う人材を育成することを目指して、地域の良さを活かし、ユニークで新たな発想を大切にした地域連携活動を展開し、自信と意欲そして広い視野を有する人材の育成に努めたいと思います。

テーマ

「地域で育む心豊かな登美っ子」

目標

地域の方とのふれ合いをとおして、心豊かな登美っ子を育てる。

今年度の取組紹介 《ゲストティーチャーによる授業》

◆狂言ワークショップ/公演会

事前に児童向けに狂言師の方から、特有の所作や笑い方などをワークショップ伝授してもらいました。後日、PTAとの共催で公演会を開催したところ、地域の方36名の参加があり、保護者や全校児童と共に日本の伝統文化に触れることができました。



地域の方に、本校の教育活動や子ども達の学びの様子を知っていただく良い機会になり、来年度の学校支援事業に協力を得られることにつながることができました。

◆海洋楽（海洋学）教室

廃材を利用して作られた精巧な魚や海の生き物のロボットを使って、海と命を考える授業を受けました。子どもたちは、室内用プールの中をまるで生きているかのように泳ぐ魚のロボットに感嘆の声を上げていました。また、ゲストティーチャーの林先生自身の生き方の話を聞いて子どもたちなりに、世界の広さや環境問題や障害者について深く考えることができる授業となりました。



子どもたちの感想から
ロボットの材料は、海岸に落ちているごみでつくります。なのに、とてもリアルで、釣りもできるのです。そんな林先生はすごいなあと思いました。世界中の病院にも行って、みんなを笑わせているそうです。ぼくも、林先生みたいに大人になったらみんなを元気にしたいです。

今年度のまとめ

PTAとの共催で取り組んだ狂言の公演会では、子どもから、「笑い方があると知ってびっくりした。」「世界無形文化遺産に登録されているだけあって面白かった。」「また機会があれば見たい。」等の感想がありました。また、地域の方からも、初めて見た感動と感謝の言葉をいただくことができました。

本校では、キャリア教育、食育、世界遺産学習、教科学習等の多岐にわたってゲストティーチャーによる授業を実施してきました。子どもたちにとっては、「ワクワク、ハラハラ、ドキドキ」する体験学習は初めて知ること初めて学ぶことが多かったです。さらに、将来の夢、仕事、地球の環境問題、国際社会、日本文化・伝統、命について、改めて考え直す機会となり、教員の資質向上につながりました。

来年度に向けて

「体験学習事業」をさらに充実し、今まで取り組んできたキャリア教育や食育、世界遺産学習を再構築し、平成27年度に実施される『総合「なら」』（仮称）の教育課程編成に活かしていく予定です。また、「ふれあい事業」「環境整備事業」では、PTAとの協働だけでなく、地域の方の力をお借りし、登美ヶ丘の子どもを登美ヶ丘の方と共に「心豊かな登美っ子」に育てていきたいと思ひます。

テーマ

瞳キラキラ 心わくわく 新しい出会い、発見を求めて

目標

- ・子どもたちが生き生きと活動できる空間の設営に取り組む。
- ・地域教育力を効果的に活用して、体験学習や集団的活動を通して生きる力を培う。
- ・読書活動を通して心豊かな子どもを育てる。
- ・安全見守り活動に地域との連携を図る。

今年度の取組紹介

《1年 昔遊び体験》

地域との連携事業として取り組んで2年目になりました。地域「まちづくり協議会」の方々が中心となり声をかけていただきました。今年も地域老人会より28名のボランティアの方々が「コマ回し」「竹とんぼ」「まりつき」「カルタ」「おはじき」「あやとり」等を教えてくださいました。子どもたちは、経験したことのない遊びやもっと上手になりたい遊びに夢中になりました。また、遊びを通してその中で交わされる会話が、子どもたちとボランティアさんとの距離をぐっと縮めることとなりました。



《高学年お茶会》

高学年が日本の文化に触れる体験学習として取り組んでいる学習です。地域の方をゲストティーチャーとして招き、作法をはじめ、その味わい、歴史に至るまで静かな雰囲気の中に真剣さと新しいものへの期待感、学びの達成感など普段では味わえない日本の良さに触れることができました。



今年度のまとめ

- ・各学年における体験活動が充実し、地域の方をゲストティーチャーとして迎えたり、「まちづくり協議会」の月1回の登校時見守り活動が始まったり、学校と地域の連携が深まってきました。
- ・環境整備活動事業では、モウモウクラブの方がボランティアとして夏の活動をしていただきました。
- ・読書活動推進事業では、今年度は『全校お話の会』を年間4回から3回で行ったが、児童の読書に対する興味・関心、お話を聞く態度がよかったです。また、本予算事業で学級図書環境を整えたことにより『朝の読書タイム』活動が充実し、児童の意識がより一層高まりました。
- ・東登美フラワーガーデン整備事業では、全体構想ができてきました。

来年度に向けて

- ・地域連携はより効果的に深めていく必要があります。各学年の取り組みとしては、学校・学年行事、教科学習等年間スケジュールを見据えた上で、取り組む時期・内容を精査していく必要があります。
- ・環境整備活動事業では、環境整備ボランティアを募集し、フラワーガーデンや前庭の整備も含め年間の活動を見通した連携を進めていきます。
- ・読書活動推進事業では、読書活動推進ボランティアを募集し、図書室や学級図書の環境整備をはじめ『朝の読書タイム』『全校お話の会』をコーディネートしていきます。

テーマ

わくわく・どきどき・地域と歩む幼稚園

目標

様々な感動体験をする中で豊かな心やろうとする意欲を育み、たくましく生きる幼児の育成。**自分たちの地域に親しみ、愛着を持つ幼児の育成。**

今年度の取組紹介

地域のゲストティーチャーを迎え、様々な体験をすることができました。お話の会では地域の方を迎え年4回実施しました。誕生会や行事の折に手遊び・読み聞かせ、素話は幼児にとって素晴らしい機会を与えてもらったと思われます。最初なかなか話が聞けず、姿勢を崩す子もいましたが、回を重ねることで集中して話を聞く態度が育ちました。地域の高齢者施設との交流は核家族で過ごす幼児にとって高齢者の温かさに触れることができました。地域の講師先生を迎え、幼児と会話をしながらの親子お茶会は、和やかな雰囲気の中、日本の伝統に触れることができました。親子野菜栽培は夏野菜を親子で植えるとともに成長を喜んだり、育てることの大切さを体感しました。

園庭の花壇の花植えは幼児の感性を高めることができました。

様々な体験は感動を与え、豊かな心情を育むことができました。子どもたちは地域の方が来て下さることで自分たちの地域を知ることができ、親しみをもつようになってきました。



今年度のまとめ

幼稚園に来て下さる地域の方に、「この前会った」「このお話おもしろかった」と、親しみをもって話す姿が見られました。保護者の方からは「書き方教室で教えてもらったことを、家でやっています。」と、喜びの声を聞くことができました。地域のサッカーグループが来てくれたことで、興味を示し、園でもサッカー遊びが盛んに行われています。親子野菜栽培活動は親子ともにはじめての経験の方もおられ、園だけしかできない活動になっています。

来年度に向けて

地域の方の教育力で子どもたちはわくわく・どきどきする時間を過ごすことができました。来年度は今年度の継続とともに、内容の工夫をすることで、子どもたちの育ちを育んでいきたいと思います。そのためには、コーディネーターの方・保護者・地域の方の意見をできるだけ聞き、ともにすすめていきたいと思います。

テーマ

ふれあいいっぱい 楽しい幼稚園

目標

子育て支援の拠点としての開かれた幼稚園作りを目指す。

今年度の取組紹介

☆「草刈りモウモウクラブ」の方々と・・・

＜ジャガイモを一緒に植えたよ＞

モウモウクラブの方に「灰のついていない方を下にして穴に植えるんだよ」と優しく教えてもらって、一緒にジャガイモを植えました。昨年の経験から「ジャガイモができれば、カレーにしよう！」と収穫に期待をしながら、植える子ども達。「カレーはモウモウさんにも一緒に食べてもらおうね」と、話ながら楽しくジャガイモを植えました。

※大きなジャガイモがとれるように畑に腐葉土を入れて耕すなど畑作りから教えていただきました。灰をつけてから、2、3日は天日で干してから植える等、畑をしておられる経験から、細かいところまで教えていただきました。今年は収穫に期待できそうです。

＜おもちつきを一緒にしたよ＞

今年のおもちつきにモウモウクラブの方々を招待し一緒におもちをついてもらいました。「よいしょ！よいしょ！」と子ども達のかけ声に合わせておもちをついていただきました。その後、子ども達もおもちをつき、やわらかくておいしいおもちができました。※昨年までつき手を誰にお願いしようか悩みの種でしたがモウモウクラブの方々がひきうけてくださりとても助かりました。



今年度のまとめ

- ・モウモウクラブをはじめ、様々なゲストティーチャーに来ていただきました。昨年に比べ、いろいろな機会に園に足を運んでもらい、園の様子や子ども達の姿を知っていただき、子ども達と共に活動していただく回数が増えました。回を重ねるごとに相互理解が深まり、地域の方々に来ていただいたことは、子ども達をはじめ、教師自身も豊かな体験ができ、いろいろな学びにつながりました。
- ・コーディネーターさんから・・・「コーディネーターをしたから、地域の方々や取組についてよくわかりました。他の保護者の方々にももっと知らせて自分たちの地域について知り、関わりを持ってもらったらいいのでは」という意見をいただきました。
- ・昨年度よりもさらに「モウモウクラブ」の活動をひろげていただきました。(花壇作り、園庭の草刈り、垣根の剪定、畑作り、餅つき参加など)

来年度に向けて

- ・ゲストティーチャーやモウモウクラブをはじめとする地域の方々について、もっと保護者にも知らせていき、地域の活動に関心をもってもらいたいです。
- ・更に一年を通して計画的に活動を進め、地域の方々と子ども達との関わりを大切にしながら、共に活動し豊かな学びにつながるようにしていきたいと思います。